

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	ITマネジメント	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム運用コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間	火曜 5時限目～		授業形態	講義
教科書/教材	IT戦略とマネジメント(インフォテック・サーブ)／授業内配布プリントなど						
担当教員情報							
担当教員	三島 秀三			実務経験の有無・職種	有・プログラマー		
学習目的							
学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。							
到達目標							
これから情報処理技術者として社会人になるにあたり、授業で学んだ知識を元にプロジェクトマネジメントの考え方などを理解する。情報システムを適正に運用するための知識も学習し、開発から運用まで一連の流れを全て把握できるようにする。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されている情報処理技術者試験(国家試験)の各種試験区分における基礎的知識の修得をすることによって、試験の合格も目指すものとする。							
教育方法等							
授業概要	この講義では、業務やプロジェクトを成功させるためのプロジェクトマネジメントに関する手法などを学習する。また、情報処理技術者として開発した情報システムを適正に運用・管理していくためのルール設定や、体制の確立などに関しても学習する。授業内容の理解度を確認するため、小テストを授業時間内に実施するものとする。						
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	システム開発技術			システム開発プロセス、ソフトウェア実装プロセス、保守・廃棄プロセスを理解できる			
2回	ソフトウェア開発技術			ソフトウェア開発手法、ソフトウェア設計手法、開発プロセスを理解できる			
3回	システム開発環境			知的財産適用管理、開発環境管理、構成管理・変更管理を理解できる			
4回	Webアプリケーション開発			Webアプリケーション、開発手法を理解できる			
5回	プロジェクトマネジメントの概略			プロジェクトマネジメントの目的と考え方を理解できる			
6回	サブジェクトグループ(1)			プロジェクト統合マネジメントを理解できる			
7回	サブジェクトグループ(2)			プロジェクトスコープマネジメントを理解できる			
8回	サブジェクトグループ(3)			プロジェクトタイムマネジメント、コストマネジメントを理解できる			
9回	サブジェクトグループ(4)			プロジェクト品質マネジメント、リスクマネジメントを理解できる			
10回	サービスマネジメントの概要(1)			サービスマネジメントの目的と考え方を理解できる			
11回	サービスマネジメントの概要(2)			サービスマネジメントシステムの確立及び改善を理解できる			
12回	サービスマネジメントの概要(3)			ITILを理解できる			
13回	サービスマネジメントの手法(1)			サービスの設計・移行、サービスマネジメントプロセスを理解できる			
14回	サービスマネジメントの手法(2)			サービスの運用、ファシリティマネジメントを理解できる			
15回	システム監査と内部統制			システム監査の目的と考え方、ITガバナンスを理解できる			